



八幡小だより

山鹿市立八幡小学校

令和5年度学校だより No. 5

2023.7.14 (金) 発行 校長 森 每恵

強く正しく明るく

校訓「強く 正しく 明るく」 教育目標「ふるさとを愛し、夢の実現に向かって考動する児童の育成」

目指す児童像「強い子 正しい子 明るい子」

児童会スローガン「笑顔・協力・挑戦！ やさしさいっぱい 考動できる八幡っ子」

「きく」にこだわり、学ぶ楽しさを実感できる授業づくりに取り組んでいます

八幡小の過去の研究には国語科で「訊くこと」をテーマにしたものがありました。「きく」には聞く、聴く、訊くなどの漢字があります。日常的によく使う漢字は「聞く」ですね。「聴く」という漢字はよく見ると、「耳」「目」「心」という漢字が合わさってできています。集会の時には、子どもたちに「目と耳と心で話を聞こう」と話します。一方、「訊く」という漢字には、「問う」「尋ねる」という意味があります。



ところで、今年の本校の校内研究のテーマは「学ぶ楽しさを実感できる子どもの育成～「きく」にこだわり、自尊感情を高めていく授業をめざして～」です。写真は第1回目の研究授業（1年算数：宮川先生）の様子です。生活科で学んだ内容と算数科のひき算の学習を結び付けた授業の導入は子どもの「考えたい！」という意欲をかき立てるものでした。自分の思考の過程を1年生ながら、ブロックや、図、絵などを用いて友達に伝える姿、きき合う姿が印象的でした。

これからもチーム八幡小で、「きく」にこだわり学ぶ楽しさを実感できる授業づくりを進めていきます。

レジリエンスって？

～ストレスのマネジメントの仕方を学びます～

レジリエンスとは「困難をしなやかに乗り越え回復する力」のこと。最近、テレビやニュースでよく耳にする言葉です。回復力、忍耐力、復元力、再起力なども訳されコロナ禍で社会全体の活力が失われる中、特に注目を引くようになりました。本校でも「粘り強くあきらめない、くじけず頑張ること」は課題です。日常生活では嫌なこと、頑張ったのにうまくいかないこと、心がモヤモヤすることもありますね。そんなときにどう気持ちを立て直していくか、そのスキルを知っていることは大切です。



そこで、今年はスクールカウンセラーの鳩野先生に各学年の発達段階に応じたストレスの対処法を教えてくださいました。さっそく7月10日には高学年でストレスマネジメント教室「自分の心と体のことを知ろう」を行いました。

6/15 早田市長さんと元気にあいさつ！



早田市長さんはじめ、堀田教育長、教育委員会の皆さん、オムロンビンディーズの皆さん、鞠智城のマスコットキャラクターころろくんに来校していただき、一緒にあいさつ運動を行いました。計画委員会を中心に、八幡っ子の元気いっぱいのあいさつで、自分も、友達も、地域も元気にすることをめざします！

7/13 6年の水泳の授業に城北生が参加

6年の水泳の授業に城北高校スポーツ科学コースの高校生20人が参加し、泳ぎの手本を示してく



れました。きれいなフォーム、さすが高校生！腕や足の動きを具体的に教えてもらい、楽しく有意義な水泳の時間となりました。

保健指導 ～歯と歯肉の健康を守ろう～

6月4日から10日にかけては「歯と口の健康週間」でした。この6月に、子どもたちは養護の濱崎先生からそれぞれの学年の発達段階に応じて「歯の健康」について学びました。写真左は2年生。丁寧に歯磨きした後に染め出しをし、磨き残しを鏡でチェック。写真左は5年生の授業の様子です。成人の80%が感染し歯を失う原因のトップになっている歯周病。歯肉の健康についても学びました。



Let's Try! 心が落ち着くリラックス法～セルフケア

- ①「バタフライハグ」
腕を胸の前で軽く交差し、自分で鎖骨の辺りを交互にトントンします。
- ②「リラックス深呼吸」
1～4で、足の裏から頭のでっぺんまで空気を吸いあげるイメージ。5～10で、口から細い息を吐きます。



6年家庭科の授業「クリーン大作戦」から

掃除の仕方について学んだ6年生。ビフォー・アフターを大型モニターで映してチェック。

一つ一つが自立に向けた生きた学習です。ご家庭でも定期的実践できるとよいですね。



